

かいぞう

地区広報



富永

館

春に備えて寒風の下 枯草を刈る保勝会の皆さん

春は桜花……

「花」という言葉が、梅から桜をさすようになったのは、いつの頃からか詳びらかではありませんが、いずれにしても桜花が古い時代から、日本人の心を和ませてくれたことは確かでしょう。

なま暖かい南風の中で、淡い色を咲かす時、不思議な程、過去の思いや明日への希望が私たちの脳裏をかすめるものです。

二十余年の

努力が実って

「海蔵堤を桜の名所に」と願って、海蔵堤保勝会が設立されたのが昭和三十四年。以後、満開の桜を夢見してお世話下さった皆さんのお陰で、今では屈指の並木となり、春にはこの海蔵地区民だけでなく、全市民の目を楽しませてくれます。

近年、どこの河川も丈夫なコンクリート護岸堤に改修されるにつれ、桜並木も年々減少して参りました。だからこそ、今の保勝会の活動が一層大切になってきていると言えるでしょう。今日もまた、寒風の中、黙々と枯草を刈る会員の方々の姿が見られます。

青少年問題を考える

海蔵地区青少年問題協議会会長 平野昭夫

昨年は、毎日の様に校内暴力が新聞をにぎわせ、私達青少年問題に携わる者や、年頃の子どもを持つ父母にとって、誠に由々しい一年でありました。

従来、生徒が先生に暴行を加えるのは、卒業式か、その前後に多かったように記憶しておりますが、最近では、日常、時・所を構わず起っている状態です。それも今迄は、大都市やその周辺だけ……と考えられていたのが、県内で、市内でと報道されるにつれ、いよいよ私達の身の周りにも悪の手が追ってきているという思いに駆られるのであります。

青少年を非行に追いやる原因は、一体何なのでしょう。それは、生活が豊かになったこと

最近、表彰を受けられました個人、団体の方々をご紹介致します。各方面にわたり、長年ご尽力されたその功績に対して授与されたものです。今後も引き続きお世話下さいますようお願い致します。(広報部掌握分)

【被表彰者の皆さん】

- ☆消防・県精勤章 広瀬美三(万古町)
- ☆消防・北勢支会表彰 徳丸喜平(野田二丁目)
- ☆消防・北勢支会表彰 笹岡健一(西阿倉川三区)
- ☆三重県共同募金会会長表彰 四日市支会海蔵分会
- ☆三重県精神衛生協会会長表彰 伊藤博子(西阿倉川二区)
- ☆社会保険片長官表彰 海蔵婦人会
- ☆全国交通安全協会会長表彰 地区交通安全母の会

研修会を開催する

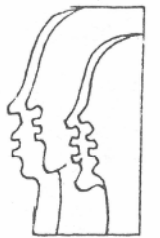
こうした中で、昨年十一月、青少年問題協議会と地区市民センターとが共催で、「青少年問題を考える」講座を開催致しました。はじめての試みのため、小・中学校PTA各役員、指導

少くとも、海蔵地区だけから非行青少年をなくしたい……。この願いは、私だけでなく、地区住民みんなの願いだと思えます。「悪の芽を摘み、健全な土壌を！」大変難しい事ですが皆さん一人一人のお知恵を拝借しながら、皆さんと共に、この問題に取り組んで参りたいと考えております。

委員、育成会の役員の方々のみに限定しましたが、毎回多数の



元気になわとびをする子ら。この子たちに明るい明日を



参加を得ることが出来ました。講師の佐藤・辻先生による、「子どもの気持ちをよく知り、対応しよう」、「地域で何をすべきか」の話には、参加者一同大きな感銘と教訓を受けました。今後は、役員のみならず、子どもを持つ父母を対象に、こうした専門家の話を聞く機会を設け、新たな家庭、地域づくりの輪を拡げてゆきたいと思えます。この様な活動が、非行をなくす一つの手だてであると確信致します。

どうか皆さん、非行のない街、明るく住み良い街にする為、ご協力をお願い致します。

主張

最近の子供は、「働かなくなつた」とよく言われます。確かに今の子供は、働くことをいやがり、働こうとしません。では、なぜこのような子供が増えてきたのかを考えたとき、その理由として、親が子供を働かせなくなったことがあげられます。総理府が出した国際児童年記念調査による

働く子供をとりもどそう！ 労働の苦しさ喜びを

と、日本の子供の手伝いの時間は、アメリカの一時十二分、タイの一時四分に對し二十四分、調査対象六カ国の中で最低だったという事です。世界的に見ても、日本の子供がいかに働いていないかが分かります。昔は、親と子供が共に働くことが普通でした。共に働くことにより、親は子どもに労働の意義や尊厳を教える、子どもは自然の仕組みや法則、人間として生きていくための

そして、労働の厳しさや尊厳を教えてやってください。心と体の健全な発達のためにも、家庭と学校が手を結んで、「働く子供」をとりもどしましょう。

海蔵小 山本

竹内さん、永年ご苦労様 地区民生委員会会長代る

三十数年にわたり、民生委員として活躍下さいました竹内森太さんが、昨年十月をもって定年により退職されることになりました。この間、海蔵地区民生委員会会長、四日市市民生委員総務会長を歴任され、全市の福祉向上に大きな功績を残されました。今後も、この地区にお力添え下さいますようお願い致します。尚、竹内さんの退職に伴って会長に真弓英子さん、副会長に野崎廣さんが選任され、また、伊藤かなさんが新しく委員となられました。

| 氏名 | 住所 | 電話 | 担当地域 |
|--------|------------------|----------------------------|---------------|
| 山梨 喜一 | 大字東阿倉川331 | 31-6041(自宅) 31-1025(工務) | 東阿倉川町一、二区 |
| 森 政雄 | 阿倉川町3-15 | 31-0945 | 阿倉川町 |
| 水谷 敏彦 | 万古町3-35 | 31-2349 | 万古町 |
| 伊藤かなる | 三ツ谷東町5-1 | 31-5853 | 三ツ谷町東区、三ツ谷町南区 |
| ◎真弓 英子 | 三ツ谷町4-20 | 31-5679 | 三ツ谷町西区、三ツ谷町北区 |
| 石崎日出子 | 本郷町14-3 | 31-1476(自宅) 31-1269(工務) | 本郷町1区、2区 |
| 小野ひさる | 末永町6-21 | 31-6851 | 末永町8~13 |
| 伊藤 健一 | " 2-11 | 31-7679 | 末永町1~7 |
| 辻 謙一 | 野田二丁目17-23 | 31-6993 | 野田一、二丁目、清水町 |
| 上村 政己 | みゆきが丘二丁目1504-106 | 31-2976 | みゆきが丘一丁目、二丁目 |
| 水谷幸二郎 | 大字西阿倉川806 | 31-0400 | 西阿倉川町1区 |
| ○野崎 廣 | " 1540-4 | 31-5506 | 西阿倉川町2区、松ヶ丘 |
| 野崎要太郎 | " 914 | 31-0150 | 西阿倉川町3区、4区 |



楽しいもちつき風景

保育園

おもちつき... 保母 黒宮 敏子

海蔵名物もちつきしましよべッタンコ・ペッタンコ ペッタンペッタンペッタンコ。 「おもち食べたことのあるおともだち」 「ハイ」 「私ユニーでかっけてきたべたよ」 「ほくもちつき機でついてたべるよ」 「じゃねとうすでペッタンペッタンおうちでついてたべるおともだちいるかな」 「ハイ」 わずか数人の手があがりましたがあまり覚えていないようです。 「今日は保育園でみんながおもちをついてそのおもちをお母さんたちにまるめてもらってたべようね」 「ワイ、ワイ」 子どもたちは大喜び、大きい五才児のお兄さんたちから子ども用のきねを持って四人がいっしょにペッタンペッタン、なかなかお父さんたちのようにうまくつけないけれどその顔は真険そのもの、一才の子どもたちも保母といっしょにペッタンペッタンしましよべッタンコ・ペッタンコ。 さて全部のおもちが役員のお母さんたちの手によって、菜もち、あべ川もち、あんこもちになりみんなの前にならびました。 「いただきます」 いつも少ししか食べない子どもも今日ばかりは何回もおかわり「おいしいなおいしいね」子どもたちの顔は大満足、お手ついでして下さった民生委員さん、お父さん、お母さん本当にありがとうございます。 これは去る12月17日のおもちつきの一コマです。 お金をもってスパーにいけばなんでも食べられる現在では

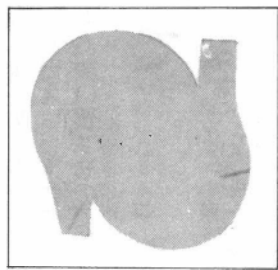
おもちはかってきて食べる経験しかない子どもたちがだんだんふえてきました。 お百姓さんが一生懸命につくって下さったお米がこのようにしておいしいおもちになるのだというところ、絵本でみるのではなく実際にきねとうすをもつてみて身体全体で覚えたことは何にもかえがたいことだと思えます。 いつまでもいつまでも海蔵名物として保育園ならではのおもちつきがひきつがれていきますように。 ペッタンコ、ペッタンコ、ペッタンコペッタンペッタンペッタンコ。

地区市民センター前にて 胃ガン検診行なう

『早期発見、早期治療により海蔵地区からガン患者をなくそう』という主旨で、昨年十月十九日、検診車による胃ガン検診を実施いたしました。当日は、あいにくの大雨にもかかわらず多数受診されました。 尚、結果は次のとおりです。 受診者数... 四五名 密検査必要) 0名 判定A(明らかな異常・至急精査必要) 0名 判定B(異常認められる・精密検査必要) 0名

検査必要) 5名
判定C(異常があるかも知れない。精密検査受けた方がよい) 2名
判定D(息止め、肥満等により検査不適当) 2名
判定E(異常なし) 36名

社協として、今後もう一度機会をつくってゆきたいと考えておりますので、その折には是非、多数の方が受診されますよう、お勧め致します。



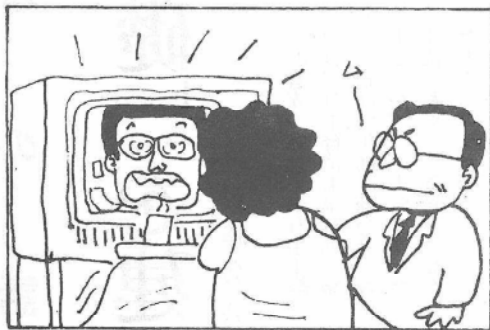
'81 国際障害者年

掛け声だけで 終わらないために

皆さんご承知の様に、今年が国際障害者年です。同じ一人の人間として生を受けながら、身体的、精神的障害のため、社会生活を送ることの出来ない人、あるいは出来にくい人が沢山いらっしゃいます。「社会への完全参加と平等」を求めて、今私たちが出来ること、しなければならぬことを、共に考えてみましょう。

シンボルマークの説明

国連は、国際障害者年に関連して使用されるべき公式シンボルマークを決定した。それは、二人の人間が連帯して手を取り合い、平等の立場から互いに支えあっている姿を表現している。このシンボルマークはフランスのIYDP国内委員会提供のオリジナルデザインに基づいているが、それは、「平等」、「希望」、「支援」を表わしている。マークの周囲の葉は、国連の紋章の一部を示すものである。(1979.12月17日国連広報局)



このたび広報部では、四日市の精神薄弱者授産施設、市立共栄作業所を訪ねました。ここで感じた事を地区の皆さん方にお伝えし、又個々の障害を持つ人に対する深いご理解と、ご協力をお願い致します。

共栄作業所を訪ねて

共栄作業所では、十六才から二十才までの障害者が社会復帰のための技術指導を受けています。作業内容は段ボール箱の組立、万古の鋳込、アクセサリー用品等の軽作業で、流れ作業方式により、仲間同士が力を合わせて一つの品を作り上げます。広報部が同所を訪ねて先ず感心したのは、作業室に入ると顔があつたらずに「今日わ」と挨拶をしてくれる。こちらも「今日わ」と挨拶を返すが、す



今日も元気に張り切る

障害者への理解...

この様に、仕事に一生懸命力を注いでいる姿を見ます時、私たちがこの青年達に力添えできないのは何かを考えてみましょう。一般の方は、障害者の福祉施策は行政のする事で、我々では何の力にもなつてやれない、ただ「恵まれない人」という同情の意識しか持つていないのではないのでしょうか。

友達になろう

「おじさん、たいたいま」
「よう吉伸君お帰り、今日の仕事は何をした？」
「今日は箱」
「上手に出来たか？」
「うん、出来たよ」
「それはよかったなあ。お母さんが待っているから、車に気をつけて帰るんだぞ」

「うん、バイ」
吉伸君は今年二十才。先日成人式に職場の仲間より祝福された授産施設に通っている青年です。毎日同じ道を、同じ時間での電車通い、だから、私達と同じ路上で、同じ時間に出会う時の会話のやりとりです。一日の作業の疲れも見せず、



今日もやっただけと言った様な足どりで、我が家に帰る吉伸君の後姿を見送る時、私達自身が、頑張らなければと励まされるひと時です。

お母さんもっとと勇気を出して

一月十二日夜七時半から放送された、NHK特集「旅立とう今こずえさん二十才の青春」、みなさんも、見られた方が沢山居られた事と思いますが、「サリドマイド」被害で、両親のない一女性の二十才までの生き方を、継続的に追いつつたもので、彼女のそのしたたかな生き方は、実に感動的でした。

僕らに仕事を

「こずえさんは「手があつたらこんなことも、あんなことも出来るのになあ」とは一度も思ったことがないという。見ているも、明るい性格の娘さんのようである。しかし今でこそ、力強く生きるために種々の事に挑戦し、克服してきた彼女だが、この間のお母さんの心中を察すると、胸がジーンと熱くなる思いです。

テレビで「ともに生きる社会」として、昔から精神障害者が町の人と一緒に力強く生きてきたベルギーの町の独自の里親制度の伝統が紹介されました。障害者を施設に保護したり、隔離するのではなく、むしろ社会に溶け込ませようと、皆んなが力を合わせています。障害者



障害者の社会参加に協力の三浜紙器

たとき「休みたい人は、手をあげて下さい」と尋ねても、だれもあげなかったという事です。「どんな障害者からも、働く喜びを奪ってはなりません」と強く

社会自立への働く場を

さて、職業訓練を受け、いざ社会へ自立しようとしても、企業の雇用率が低く、「働く」ことに参加出来る間口はまだまだ狭い、というのが現実です。一人でも多くの障害者が「働く」ことに参加出来る場の提供、確保が重要な課題となっております。当地区、野田町に「三浜紙器」があります。この会社は、



干支の楊枝立て仕上げをする仲間

地域の話題

「平和の礎」を建立して

野田親睦会会長 西野久義

長年の念願であった戦没者慰霊碑「平和の礎」をやつと建立することが出来ました。

あの忌しき太平洋戦争にて、遠い他国の地や海に散った十二柱、そして戦後の混乱期を悲しみと貧苦に耐えて生き抜いてき

たその遺族。戦後三十有余年経た今日、日本経済も飛躍的に発展し、私達の生活も随分楽になりましたが、この土台を作ったのは戦没者やその遺族ではなかったのでしょうか。

これを思う時、私達の悩まか

ら一時も離れなかったのは「何とかして霊を慰めたい」という気持ちでした。

碑は、野田全戸から寄附を戴きまして、野田神社内に黒御影

石で出来上り、十月十二日、関係者各位で参列のもと、ささやかながら除幕式を開催いたすことが出来ました。

ちょうどこの日、「子どもみこし」も完成、子ども会による「初練り」も行なわれて除幕式に彩りを添えてくれましたが、「十二柱よ安らかに」と祈りつつ、この子どもたちに二度と同じ不幸が起らないよう、まさに「平和の礎」にしたいと、決意を改たにするものです。



「平和の礎」除幕式

住みよい地域づくり

親睦会で人と人の和を

みゆきヶ丘二丁目自治会

自治会初の試みとして、昨年十一月九日に長野県の南信方面へ「りんご狩りと天竜下りの集い」を催しました。

これは、お互いの親睦をはかる意味と、今一つは、子供達に「りんご園」でどのようにりんごが採れるかということ、実際に見学してもらおうということにありました。

当初は観光バス二台を予定しておりましたが、結果的には五十九名でバス一台となりましたが、天竜下りでは両岸に君臨する山並みの紅葉をはじめ、すみ切った紺べきの空など、晴天に恵まれた

せいもあって、終日和気あいあいのうちに、有意義な一日を過ごすことができ、参加者の皆さんからとても感謝されました。

また、私ども自治会では、年中行事の一つとして、各商社の協賛を得て、町内の中央公園で盛大に「盆踊り大会」を催しております。

今年も八月の土・日の両日には行う予定をしております。ぜひ、皆様方お誘い合せのうえ、輪の中へ入り、楽しく踊って下さい。お飲物もサービスさせていただきます。

みこしをかつぐ子どもたち



楽しいひと時「天竜下り」風景

我が街を美しく



| 町名 | 埋立 | ごみ | | | | 再生ごみ |
|---------------------------------|----|----|----|----|----|------|
| | | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | |
| 東阿倉川・みゆきヶ丘 松ヶ丘・阿倉川・万石 | 火 | 17 | 21 | 19 | 16 | 7日 |
| 西阿倉川 三ッ谷・三ッ谷東 末永・本郷・清水・野田 | 水 | 18 | 22 | 20 | 17 | 7日 |

ゴミを出す態度で

人格が.....

「あらっ//まだ清掃車が来ないのかしら?」
「ちがいますよ奥さん。誰かが今しがた車で捨てて行きましたよ。本当にいやになりますわねえ」

これは昨今のゴミ収集場所近くの主婦の立ち話です。自分中心主義の人間が、どこへ行っても満ちあふれています。もしも、もしもですよ、ゴミに言葉があれば、

「我が家のご主人たちはなんて冷たい人でしょう。長いローンとご主人たちへのご奉仕にくたくたになり、ご用が済めば、はい、さよなら」。これではあんまりではないですか。

以前、清掃事業所の職員から

聞かされた話に、ゴミを出す人の態度でその家族の人格がわかる、ということだった。確かに不用になったから出すのですが、今一度ゴミを収集する職員の身になって、また、住みよい地域をつくるためにも、決められた日に出すようにしようではありませんか。

ゴミは文明のものさしではあるが、貧富のものさしにあらざるが、

我が家の防火

阿倉川町 渡辺 光子

日常何気なしに使っている火。火のあるお陰で美味しい料理も出来、部屋もあたたまり、豊かな生活が出来るのです。しかしちよつとの油断で、家も灰になり、人も死に、近所に迷惑をかけます。

我が家で特に気をつけている事は、天婦羅を揚げていた時、電話がかかったり、お客様が見えたりした時は、必ず火を消してからにします。ちよつとの間だからと言って、つい長話になったりしたら大変!とり返しがつきません。

主婦にとって一番よく使うコンロは、火

地域の婦人会として

海蔵婦人会会長 藤田 すす子

海蔵地区にお住まいの皆さま、いつも婦人会へ温かいご協力を頂きまして誠にありがとうございます。お陰様で婦人会活動もブロック別にして、一歩一歩前進しております。

五月と十一月の二回、親睦をかねた社会見学をはじめ、明るい町づくりの一端として、映画による「青少年に対する親のあり方考案方」「合成洗剤による公害の恐ろしさ」等の学習会を五会場にわかれて実施致しました。また、毎月一回の空かんひるいの呼びかけや、自治会の皆さまと粗大ゴミ跡の清掃をするなどの活動を致しております。

の確認を必ず行う様に習慣づける事です。特に炊飯器は必要だと思えます。私も液化石油ガスの保安点検の仕事に就いているので思うのですが、一軒一台は、消化器とガス漏れ警報器を備え、いざと言う時のために、使用方法をしっかりと身につける事です。

便利な物ほど危険が伴っているのです、火を上手に使い、感謝して防火につとめ、火災を起さない様に、お互いに気をつけましょう。

社会保険庁長官表彰受く

嬉しいニュースを紙面をおかりしてお知らせいたします。

一月二十一日、三重県庁において、栄えある社会保険庁長官表彰を受けることが出来ました。年金制度が出来てから現在に至るまで、年金の集金を続けてまいりました。その間、いくたびか座折しそうな事もございましたが、役員さんのご努力と、皆様のご協力によって受賞することが出来たことを、深く感謝致しております。

今後とも、ご協力、ご声援を婦人会にお寄せ頂きますよう、重ねてお願い申し上げます。ありがとうございます。

感謝状

海蔵地区婦人会 役員
貴組織は国民年金事業の発展に際し、常に積極的にその事業の推進に協力され本制度の発展に多大の寄与をなされたことに対し、御礼申し上げます。

昭和五十年一月三日
社会保険庁長官 石野清次



